

# 病理医のいる病院

病理診断科 総括部長  
堀口 英久

2025年3月発行

直接顔を合わせる機会が少ないため、「病理医」という名称には馴染みが薄いと思われがちですが、私たちの仕事は日々の診療と密接に結びついています。今回は、病理医の役割や仕事内容についてご紹介します。

## 1. 病理組織診断

診療所や病院で組織（体の一部）を採取される検査を生検といいます。内視鏡（先端にカメラが付いた管状の医療機器）の検査で胃や大腸の組織を採取された、乳房のしこりに対して針を刺された、検診後に二次検査

として子宮の組織の一部を採取された、などを指します。生検の結果を**病理（組織）診断**といい、主治医から「病理検査でがんという結果が出ました…」等の告知を受けることもあります。この病理診断をするのが私ども病理医の仕事です。

病理診断は厚生労働省により定められた「医行為」と言われるもので、医師でなければできない業務です。採取された組織を用いてガラス標本（以下標本と称します）を作製し、それらを顕微鏡下に観察して病気の診断（病名）を下します（図1～5）。

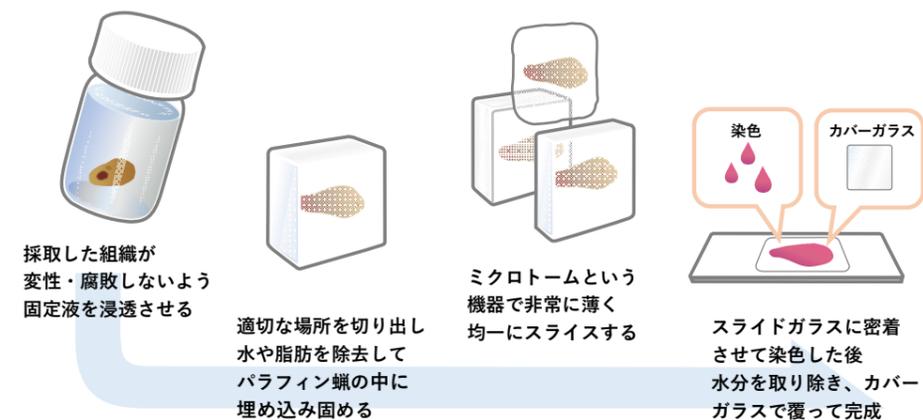


図1：ガラススライド標本作製の大まかな過程



図2：観察を行う顕微鏡本体



図3：完成したガラススライド標本

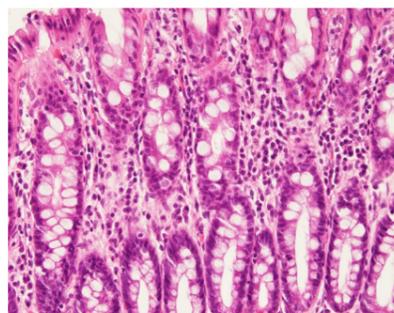


図4：正常な大腸粘膜

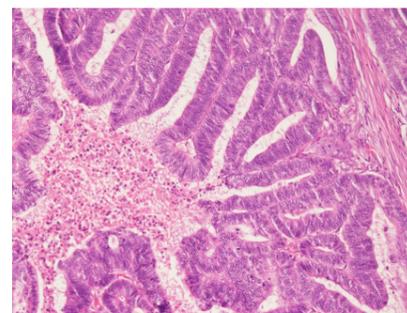


図5：大腸がん（すべてががんの組織）

特に悪性腫瘍（がん、リンパ腫、脳腫瘍など）の診断については多くがこの病理診断に基づいています。

また、手術で切除された臓器（肺、大腸、卵巣など）大きな組織について生検のとおり腫瘍（がん）が存在しているか、どのくらい進行（浸潤）しているか、リンパ節に転移していないかなど、生検と同様に顕微鏡を使って調べます。主治医から「がんのステージは〇〇です」などと説明があったとき、それもこの病理診断に基づいていることがほとんどです。これらの病理診断を根拠として抗がん剤の選択や放射線治療の有無が決定されます。

## 2. 術中迅速病理組織診断

手術中に切除された臓器の端（断端）やリンパ節の標本を作製することにより、がんの有無などを調べることを術中迅速病理組織診断といいます。超短時間（15分程度）で標本作製しなければならないため、通常（1～3日）とは異なる工程での標本作製が行われます。言わば即席の標本のため、どうしても顕微鏡下での見え方が良好とは言い難いときもあり、難易度の高い業務です。

当院では、年間300症例近くの術中迅速診断が行われています。断端に腫瘍が残っていないと判断できれば追加切除をせずに済み、患者さんの負担も軽減されます。また、がん細胞が増殖して周囲のリンパ管へ侵入した場合、最初に辿り着くリンパ節への転移はないことが判明すれば、他のリンパ節を切除する必要もなくなり、後の合併症を防ぐ一因ともなります（図6～7）。

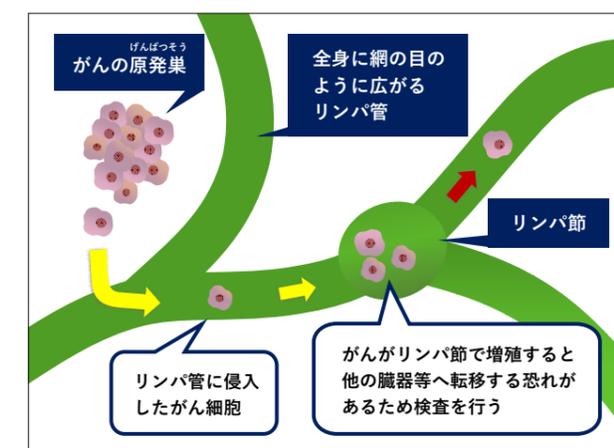


図6：がんのリンパ節転移

短時間で結果を出さなければならないのでストレスのかかる業務ですが、手術の質を担保するのに役立っています。

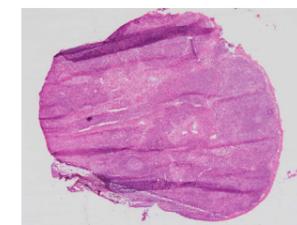


図7：術中迅速診断のリンパ節

## 3. 病理医にできること

前述の1, 2のような業務が遅滞なく行われるために、そして、各科の医師が病気の診断や治療方針のための意見交換を随時できるようにするためには、その病院に複数の病理医が常勤していることが望ましいです。当院では現在2名の常勤病理医に加えて、徳島大学から月に数回の医師派遣による支援を得て業務を遂行しています。我が国では常勤病理医がいない公的病院も少なくないことに鑑みれば、医療の質を重視する当院の姿勢がうかがわれます。

また、先進的ながん治療を行う医療施設および研修医の育成・学術的サポートを行う地域の基幹病院では病理医が勤務していることが求められます。医療安全、医療倫理、医学教育においても病院での病理医の積極的関与が期待されています。

## 4. 診断の自動化と客観化

最後に診断の自動化・客観化についての問題です。昨今、人工知能（AI）の発展は目覚ましいものがありAI診断についても研究が進んでいます。しかし、病理診断に関していえば、現状ではAIは人間（医師）の能力を凌駕するまでには至っていません。そして、人間である病理医も100%の正診率を有することは難しく、そういう意味では病理医もAIと同様、知識や技術が変遷していく医学・医療の世界に身を置く一員にすぎません。

もし病気の診断について懸念されることがあれば、率直に主治医にご相談されるのが良いと思います。内容によっては主治医と病理医が再度検討するなど、診療のお役に立てることもあります。病理医のいる病院は良い病院と思っていただけるよう、専心して参ります。